

令和2年度

ほけん妙高

No. 16



妙高市学校保健会

妙高市教育研究会

養護教諭・栄養教諭・栄養士部会

目 次

第 1 部 妙高市学校保健会

□ あいさつ	1
「コロナ禍で感じる“健康の大切さとありがたさ”」		
	会 長	宮野 正則
□ 活動報告、保健・食関係の表彰	2
□ 健康・食教育に寄せて	3
「COVID-19 に関して思う事」	学校内科医	揚石 義夫
「コロナ禍における歯科受診について」	学校歯科医	池田 博康
「With コロナの時代に」	学校薬剤師	寺澤 正貴
「健康十訓」	校 長	坂詰 浩一
「学校生活と体力、心の関わりについて」	保 健 主 事	渡邊 貴司
「with コロナ」 私の決意」	養 護 教 諭	小坂 悠寧
□ 我が校の実践	6
「新井小学校の体力づくり・健康と食教育を紹介します！ ～コロナウイルス感染症対策を心がけて～ 新井小学校 健康・体力づくり部		
□ 会員名簿	8

第 2 部 保健統計（令和 2 年度）

□ 年齢別体位	9
□ 学年別肥満傾向	10
□ 児童生徒疾病異常一覧	13
□ 学年別裸眼視力	14
□ 歯科保健	16

【 表紙絵 新井南小学校 2年 竹田 貴心 】

（令和 2 年度歯科保健図画・ポスター・標語コンクール 県佳作入賞作品）

（敬称略）

令和2年度

妙高市学校保健会



新井北小学校 2年 小山 紗英

(令和2年度歯科保健図画・ポスター・標語コンクール入賞作品)

標語の部

令和2年度歯科保健図画・ポスター・標語コンクール入賞作品

「**歯をみがく それは自分を 守ること**」 ※標語の部県佳作入賞

新井中央小学校 6年 北神 柚花

「**はみがきは 미래のきみへの おきみやげ**」

妙高高原南小学校 4年 川久保 敢太

「**歯みがきは 一生後悔 しないため!**」

新井小学校 6年 相羽 紗那

コロナ禍で感じる“健康の大切さとありがたさ”



妙高市学校保健会 会長 宮野 正則

令和2年1月下旬、中国武漢で未確認の感染症拡大が報道された。それから瞬く間に、新型コロナウイルスは、世界中に感染を拡大した。3月、政府による全国一斉休業要請により、年度末の大切な教育活動が未実施のまま令和元年度を終了した。

新年度に入り、学校再開後もマスクの着用、手洗いや消毒の徹底をはじめ、3密回避など新しい生活様式が求められた。国や教育委員会からの通知や指導を基に、危機意識を高くもち、全職員で感染防止に対応した。一方で、児童生徒の健康が最優先と認識しても教育活動の見直しには様々な迷いや葛藤が生じ、苦渋の決断が迫られた。中止の決断には、無念の思いでいっぱいである。

そうした1年間を振り返り、健康の大切さ、当たり前の日常生活のありがたさなどを再認識している。きっと児童生徒も、学校生活の重要性、友達と過ごせる幸せを実感し、健康への感謝もより一層強くなったことを確信する。

今年度の妙高市学校保健会は、理事会や総会については書面審議で、研究協議会は中止とした。しかし、本会の目的である、学校保健施策の充実や保健教育の推進などについては、関係者で連携を図りながら進めてきた。校内の消毒体制や陽性者発生時の対応マニュアルなどを情報共有したことも伺っている。各種健康診断の際、学校医や学校歯科医の先生による専門家の立場からの情報提供や指導・助言は心強かった。関係者の献身的な取組や協力に、心より感謝申し上げる。

本会報誌『ほけん妙高』には、これまでの妙高市学校保健会の歩みが刻まれている。今年度発行の『ほけん妙高 NO.16』には、コロナ禍での取組を掲載し、記録として残したい。

児童生徒の健康や成長は、学校と家庭だけで完結するものではない。学校と家庭、行政機関、そして医療機関が連携することが不可欠である。今後もそれぞれの立場から提供された情報を共有し、お互いに連携しながら、学校保健の振興に寄与し、児童生徒の健やかな成長につなげていくことを確認し合い、挨拶とする。

活動報告

1 活動の基本方針

- (1) 幼児・児童・生徒の健康の保持増進のために一層の研究を深め、保健主事や養護教諭の活動について援助する。
- (2) 学校内科医・学校歯科医・学校薬剤師と密接な連絡をとり、保健活動の推進を図る。

2 事業の概要

- (1) 第1回理事会 ※新型コロナウイルス感染症対策として、書面会議
 - ①平成元年度会務並びに決算報告
 - ②令和2年度事業計画並びに予算審議
 - ③令和2年度県学校保健優良校並びに学校保健功労者の推薦
 - ④保健講演会案
- (2) 歯科保健図画・ポスター・標語コンクール参加
- (3) 妙高市学校保健会総会 ※新型コロナウイルス感染症対策として、書面会議
- (4) 第2回理事会 ※新型コロナウイルス感染症対策として、書面会議
 - ①保健講演会中止について
 - ②「ほけん妙高」編集計画審議
- (5) 新潟県よい歯の学校（園）運動参加 <今年度は中止>
- (6) 「ほけんだより妙高」の発行
※新型コロナウイルス感染症対策として、講演会の開催を中止とし、「ほけん妙高」に寄せられた原稿で作成した。各学校・園の保護者と教職員に配付した。
- (7) 「ほけん妙高」第16号の発行
(妙高市教育研究会 養護教諭・栄養教諭・栄養士部会との共同事業)

保健・食関係の表彰

- 1 新潟県よい歯の学校（園）運動
- 2 新潟県学校保健会表彰
- 3 妙高市よい歯の学校（園）表彰

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、新潟県学校保健会の県よい歯の学校運動・学校保健優良校並びに学校保健功労者の募集が中止となりました。それにより、妙高市でもよい歯の学校等表彰関係を中止いたしました。

「COVID-19 に関して思う事」

学校内科医 揚石 義夫

荒れ狂う COVID-19 第三波の只中に日本国民皆が彷徨っています。子供たちへの COVID-19 の影響については皆さま感じる事が多々あると思いますが学校内科医として少し書きたいと思います。

日本小児科学会が学会代議員の 197 施設からのアンケートを報告しています。R2. 7-8 月において、入院患者数が前年比 50%以上減少した施設が 4 割以上あり、8 割近くの施設が 20%以上減少していました。全施設で感染症の入院が大幅に減少したと回答しています。COVID-19 の対策が他の感染症に有効であったことが如実にわかります。COVID-19 が収束した後も、感染症対策の基本を継続する意味は大きいと思います。

その一方、気兼ねなく学友や周囲の大人と活動し触れ合うことを禁じたことの弊害は、長い目で見ると明らかになるでしょう。特に社会全体が直接人と会わずにネット活用を推進する風潮は子供のネットに対する閾値をさらに下げ、依存症が増えていく事が容易に想像されます。「1 年間ネットを毎日 2 時間使うと 2 時間×365 日で 730 時間。小学校の年間の標準授業時間が 45 分×980 コマで 735 時間。ほぼ同じ時間です。」(東京新聞 Web. による) との事、びっくりです。

もう一つの問題は食事です。私たちは人と共に食事しながら話すことで関係性を構築しています。いつもイライラしてふだん親御さんと会話しない子供さんでも、ご飯を食べると手足が温まり気持ちもほっこりし、割と素直に話をすることがあるはずで。ずっと家族以外の人とは会話せず食事している事の弊害はネット以上に大きいのではないかと危惧します。孤食が当たり前、誰にも本音を言わない、他人の気持ちを理解しようとしめない大人にはなってしまうと切に思うこの頃です。

「コロナ禍における歯科受診について」

学校歯科医 池田 博康

2020 年、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、私たちの生活が一変しました。感染拡大を防止するべく、ソーシャルディスタンスの確保、三密回避、マスク着用等「新しい生活様式」の実践が浸透し、当たり前の日常となりました。

未だに収束が見えず、日々様々な感染症対策が報道される中、コロナ禍において歯科医院を受診するべきかについてお話ししたいと思います。

現在までに、国内における歯科医院での集団感染は 1 例も報告されていません。これは歯科医院ではコロナウイルス流行以前から感染症対策を万全に行っていた事が理由として挙げられます。患者様ごとの診療台清拭、器具の滅菌、消毒、医療スタッフのグローブ、マスク、ゴーグルの着用、可能な限りの器具の使い捨て等、これらは従来歯科医院において基本的に行われてきた予防対策が結果として表れたのです。

近年の研究では、お口の中を清潔に保つことがウイルス感染の予防に繋がることが分かっています。お口の中が健康でなければ、睡眠の質の低下を招き、偏った食事により免疫力の低下にも繋がりがねません。お口の中の細菌増殖は、誤嚥性肺炎のリスクを高めたり、インフルエンザウイルスの感染を促進したりする可能性も明らかになるなど、お口と全身の健康維持や感染症対策としても重要であるとの認識が高まっています。お口の中の健康と全身の健康は密接に関わりがあるのです。

これまでに歯科治療を通じての感染拡大の報告事例がないことを踏まえると、コロナ禍においても患者様ご自身が感染予防をきちんとした上での受診は、意識のある事と思われます。問題のある方は、必要な歯科処置を延期することなく、継続して受診していただくことが望ましいと思います。

「With コロナの時代に」

学校薬剤師 寺澤 正貴

新しい生活様式は実践されていますか？現在、新型コロナウイルス感染の懸念から、電話やオンラインで医療機関を受診して診察を受けることが可能になってきています。診察後の薬の受け渡しについても、家にいながら電話やオンラインで薬の説明を受け、自宅に薬を配送してもらえる場合があります。薬のことで何かお困りの際には、まずは「かかりつけ薬局」にご相談ください！

マスクやアルコール消毒液に続き、うがい液が全国的に品薄となりました。大切な家族のために少しでも効果があるなら…と思う気持ちはよくわかります。しかし、イソジン等の「ポビドンヨード含有うがい液」は医薬品です！副作用があります！使用する場合は薬剤師に相談してください。

口の中には約700種類の常在菌が住んでいます、その中には外からの悪い菌やウイルスの侵入を防いでくれる“善玉菌”もいます。しかし、ポビドンヨードはこれらの善玉菌も殺してしまいます。そればかりか、口の中の粘膜を傷つけてしまうことだってあります。うがい液をうまく吐き出せないような小さなお子さんには使用させないでください。また、ポビドンヨードは手術の際の傷口の消毒等にも使われる医薬品であり、買い占められてしまうと本当に必要な医療現場でも薬が不足してしまいます。感染症予防には、身近にある水道水でのうがいで十分な効果があると言われていいますので、こまめな水うがい、石けんでの手洗いを徹底しましょう。「適度な運動」「バランスの良い食事」「睡眠」をしっかりとることも感染症に負けない体づくりには大切です。

一人一人ができるだけ周りを意識した行動をとることによって、自分自身だけでなく、大切な家族や友人を感染から守り、ひいては世界中の感染症拡大の抑制に繋がっていくと信じています。

「健康十訓」

妙高中学校 校長 坂詰 浩一

我が家の台所には、「健康十訓」というプレートが壁に掛けられている。父親が30年以上前に購入したと思われる木製のプレートで、10項目の四字熟語のような造語が書かれている。この歳になると、しみじみと感じる言葉の数々である。

「少塩多酢」、「少憂多眠」、「少言多行」、「少車多歩」など、健康訓なのかどうか分からないのであるが、前段には、「健康は嬉しい美しい素晴らしい。何はなくともやっぱり健康。」とある。このプレートを読み返してみると、健康といっても実に幅広い分野が記載されている。心の健康はもとより、食に関すること、睡眠に関すること、運動に関すること、様々である。振り返ってみると、少々後悔の念が湧いてくる。

学校教育の中でも、健康に関する分野は多岐にわたる。歯科、眼科、肥満、薬物乱用防止、睡眠時間の確保やメディア時間の削減、メンタルヘルス、運動、食育に関することなど実に幅広い。喫緊は新型コロナウイルス感染症への対応である。

当校では、以前、「健康おみくじ」を保健委員会が作成した。おみくじを引くと健康に関するメッセージが書かれている。健康に関心をもってもらうために生徒たちが考案した。

今、「自分の健康に関心がありますか。」という問いに、生徒たちはどのように答えるだろうか。健康な自分でなくなったとき、はじめて健康について考えるようでは遅いのは言うまでもない。生徒たちにはたくさんのお話を学んでほしい、学びの場を与えたい。自分自身の健康に関心がある生徒を育てたいものである。

「学校生活と体力、心の関わりについて」

新井中学校 保健主事 渡邊 貴司

今年度の新井中学校では、妙高市内、新潟県内の公立学校と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校や分散登校期間がありました。また、部活動については休校明けからも停止期間が続き、再開が叶ったのは6月を過ぎてからでした。その結果、子どもたちの運動機会が減少し、「体力が低下した」のではないかと考えられます。

この体力の低下は今年度の体力テストの数値にも表れていました。特に全身持久力の数値が例年より大きく落ち込んだことは、運動量や運動機会の減少が影響したと考えられます。やはり、子どもたちの体力の維持・向上には学校での継続的、計画的な運動活動（保健体育授業や部活動での運動）が必要不可欠です。

また、保護者の方から寄せられた休校期間中の子どもたちの様子には、「イライラした様子」などが挙げられていましたが、学校が再開した後は徐々に改善されました。これは、子どもたちにとって、保健体育をはじめとする様々な運動活動やそこでの友だちとの関わりが、心の健康にも大きく影響していると考えられます。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況が続いています。新井中学校では、今後も感染対策を実施した上で、保健体育授業や学校行事、部活動などを通じて、子どもたちの健全な心身の育成を図っていきたくと考えています。

「with コロナ」私の決意」

新井北小学校 養護教諭 小坂 悠寧

昨年1月、新型コロナウイルスという未知のウイルスの出現により、私たちの生活は一変しました。毎日の消毒作業や3密を避ける環境づくり、感染予防行動を徹底しながらの学校生活。多くの行事が規模を縮小、或いは削減される中、養護教諭という子どもたちの健康を守り育む立場として「私がしていることは正しいのか」、「私には何ができるのか」、自問自答しながら過ごす毎日です。

私がこのコロナ危機に直面して一番に感じたことは、新型コロナウイルスは、単純に感染によって体に影響を及ぼすだけではなく、心にも大きな影響を及ぼすということです。誰もが経験したことのない未知のウイルスは人々の心を不安にさせ、疲れさせてしまいます。見通しが持てない毎日に、大人でさえ平静を保つことが難しい中、一変してしまった日常は、子どもたちの心に大きなストレスとなって影を落としました。休校が明けて学校再開となった当初から心身の不調を訴え、保健室を訪れる児童が増えました。学校生活を過ごす中で、対人関係トラブルも少なくなく、不安定になる児童も多く見受けられました。未知のウイルスによって学校全体が落ち着きを失ったかのよう感じ、改めて新型コロナウイルスがもたらした影響の大きさを実感させられています。

未だ感染収束の兆しが見られない中、今後も「with コロナ」という新しい生活様式の構築が急務となっています。子どもたちが自他の心身の健康を守りながら成長していくことができるよう、さらなる感染症拡大防止の手立てを続けていきます。

また、子どもたち一人一人に寄り添いながら心身の健康状態を把握するとともに、職員間の情報交換や話し合いの場を大切に、連携を密にしながら支援していきます。

新井小学校の体力づくり・健康と食教育を紹介します！

～コロナウイルス感染症対策を心がけて～

妙高市立新井小学校 健康・体力づくり部

1 はじめに

本校は、「よい子 つよい子 できる子」を教育目標に、豊かな心・たくましい体・確かな学力が定着した子どももの育成を目指して活動しています。しかし、昨年度末からのコロナウイルス感染症対策として、様々な教育活動や行事が自粛されています。コロナ禍でも、学校としてできる対策をしながらの、体力・健康づくりを推進しています。その実践を紹介します。

2 具体的な取組内容

(1) 体力づくり

今年度は、全校体力テストを実施しませんでした。そこで、アンケート（令和2年7月）結果や、休み時間の運動遊びの様子から、実態をまとめました。

運動やスポーツなど、身体を動かすことは好きな児童	87%
体育の授業は楽しいと感じている児童	92%
早寝、早起きをしていると自己評価している児童	77%
朝ご飯を食べている児童	95%



休み時間には、グラウンドや体育館で体を動かして遊ぶことが大好きな子ども達ですが、感染症対策として、マスクの着用や体育館で遊べる学年の割り振りなど、決まり事も多くあります。

夏期は熱中症予防として、体育の授業とグラウンドでの遊び、体育館は朝から換気を行ったうえで、マスクを外すよう促して運動に親しんでいました。コロナ対策だからと体を動かすことが減り、体力が衰えることは避けたいと考えました。

委員会活動主催 運動遊び（1月）

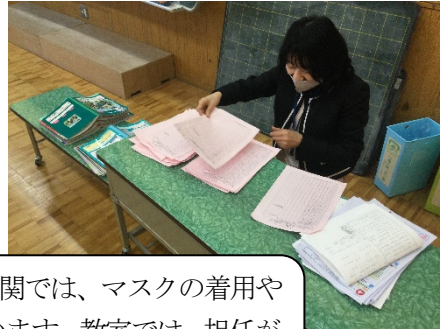
～企画・集会委員会主催「全校ミニ運動会」～ ～運動委員会主催「全校ハンカチ落とし」～

5、6年生児童が主体的に活動している委員会主催で、全校が楽しめる運動遊びを企画し、自分達で運営しました。これまでも、しっぽとり鬼大会、ドッジボール大会等、全校の希望者を対象とした運動遊び・スポーツを企画・運営してきました。寒い体育館ですが、異学年・他クラスの仲間と運動を通して交流することで、体育・スポーツの楽しさ・面白さを実感していたようです。

ここでも、学年で参加できる日を分けたり、集合場所が密にならないようコーンを使って工夫したり、各委員会の子ども達が対策をとりながらの活動をしました。



(2) 毎日の学校生活の中で



毎朝の健康観察

児童玄関では、マスクの着用や密にならないよう呼びかけをしています。教室では、担任が家庭での健康観察票のチェックを行っています。



ソーシャルディスタンスを心がけて！



手洗い場やトイレには、小さな足型が貼ってあります。密にならずに使えるよう子ども達自身が気を付けています。

保健室の入り口にも足型が・・・
来室したときも大勢で入らないことや、発育測定・健康診断の時も、間隔を開けて並んでいます。

《児童保健委員会活動でも感染症対策！》

休み時間が終わる頃に、手洗いソングが流れます。歌に合わせた洗い方の掲示物を作りました。手洗い用のシャボネット補充を委員会活動時に行っています。

手洗いソングに合わせて、丁寧な手洗いをしています。

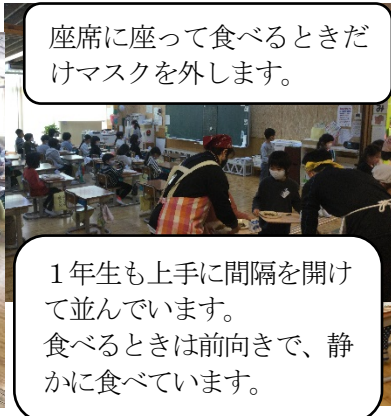


《給食ではこんな工夫をしています！》

「STOP」の手形を置いて間隔を開けている学級も

座席に座って食べるときだけマスクを外します。

手の甲で水を出せるレバーが付きました



1年生も上手に間隔を開けて並んでいます。食べるときは前向きで、静かに食べています。

〈令和2年度〉

妙高市学校保健会会員

校・園	所属長・代表	学校内科医	学校歯科医	学校薬剤師	保健主事	養護教諭	栄養教諭 栄養士	保健担当者
新井小	宮野正則	●早津邦広 小川直子	●廣瀬和人 谷口伸張 ●藤内典子	笠原あづさ	金子謙太郎	高木千春	小山康子	
斐太北小	江口克也	塚田智成	●涌井孝幸	●笠原あづさ	板垣希望	板垣希望		
新井南小	加藤佐知子	早津邦広	池田博康	●笠原義彦	植木 皐	植木 皐		
新井北小	西條敏一	●塚田智成	●内山奈津子	北村聡美	小坂悠寧	小坂悠寧		
新井中央小	加藤 晃	揚石義夫	横尾宗一 ●永野和久	●増田たか子	土屋史子	土屋史子	池田春美	
妙高高原北小	岡田和則	岸本秀文	小嶋 基	●丸山智也	依田尚子	依田尚子		
妙高高原南小	湯浅昭司	●岸本秀文	小嶋 基	●吉澤美千代	内山智美	内山智美		
妙高小	福保雄成	●松岡二郎	小嶋祥功	●加藤李恵	寺澤弘美	寺澤弘美	稲垣 彩	
新井中	村井友明	●丸山明則	涌井孝幸 永野和久 廣瀬和人	山田映子	渡邊貴司	猪又智子	吉村和代	
妙高高原中	重野準司	岸本秀文	●小嶋 基	●吉澤光弘	山岸 泉	山岸 泉		
妙高中	坂詰浩一	松岡二郎	●小嶋祥功	●上野憲夫	齋藤由利	齋藤由利		
さくらこども園	岩崎陽子	早津邦広	永野和久	●鈴木 新				後藤こずえ
よつばこども園	築田優子	揚石義夫	横尾宗一	鈴木 新				鈴木知美
妙高高原こども園	大久保裕美	岸本秀文	小嶋 基	吉澤美千代				岡田美佐樹
和田にじいろこども園	酒井文子	塚田智成	内山奈津子	北村聡美				作林美穂
総合支援学校	石崎 隆	●小川直子	●藤田 一	●寺澤正貴	藤井一磨	陸川寿乃		
新井高校	竹田直人	●外山譲二	横尾宗一 ●谷口伸張 池田博康	笠原義彦	田中美恵子	田中美恵子		
教育委員会	江口賢哉							

令和2年度

保健統計



妙高高原北小学校 6年 川本 康輔



妙高高原北小学校 5年 岡田 麻桜



妙高高原北小学校 6年 松澤 璃音



新井中央小学校 2年 山崎 楓真

(令和2年度歯科保健図画・ポスター・標語コンクール入賞作品)

令和2年度 年齢別体位

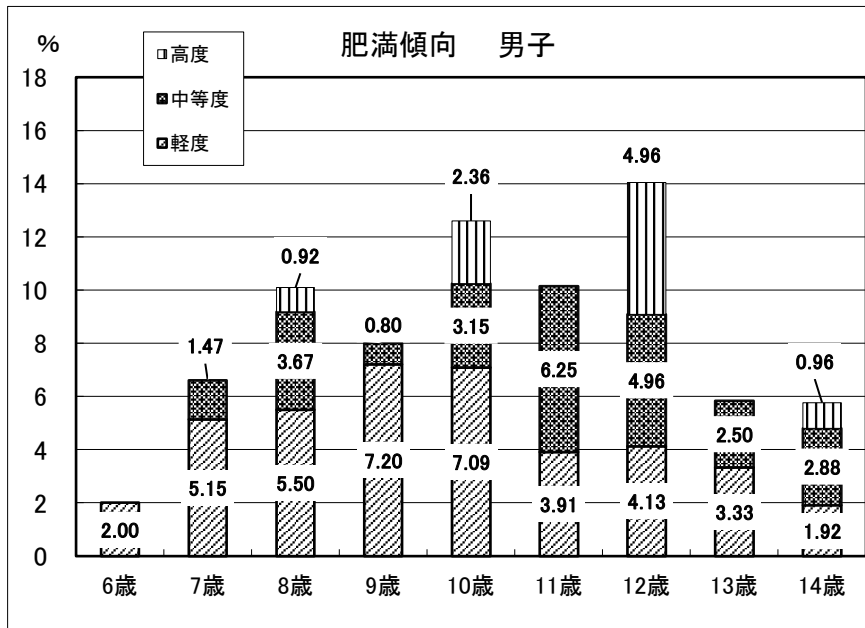
区分		小学校					中学校				
年齢		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	
人数(男)		100	136	109	125	127	128	121	118	103	
男	身長 (cm)	市	116.8	121.7	128.6	134.1	140.1	146.8	154.6	162.2	166.5
		県	116.4	123.4	129.1	134.0	139.9	146.6	153.3	160.8	166.0
		全国	116.5	122.6	128.1	133.5	139.0	145.2	152.8	160.0	165.4
子	体重 (kg)	市	21.1	23.5	27.9	31.0	35.0	39.7	46.9	50.1	54.6
		県	21.4	24.5	27.8	31.2	35.1	39.5	44.4	49.4	54.6
		全国	21.4	24.2	27.3	30.7	34.4	38.7	44.2	49.2	54.1
人数(女)		109	115	87	109	110	102	92	109	150	
女	身長 (cm)	市	115.2	122.1	127.3	135.0	142.2	147.2	150.9	155.9	157.0
		県	116.4	122.2	128.4	134.5	140.7	147.0	152.8	155.5	156.9
		全国	115.6	121.4	127.3	133.4	140.2	146.6	151.9	154.8	156.5
子	体重 (kg)	市	20.2	23.1	26.5	31.4	35.5	39.1	43.0	47.5	49.0
		県	21.1	23.9	26.8	30.5	34.7	39.7	44.1	47.7	50.8
		全国	20.9	23.5	26.5	30.0	34.2	39.0	43.8	47.3	50.1

※県・全国平均は令和元年度 県平均を上回る

<概要>

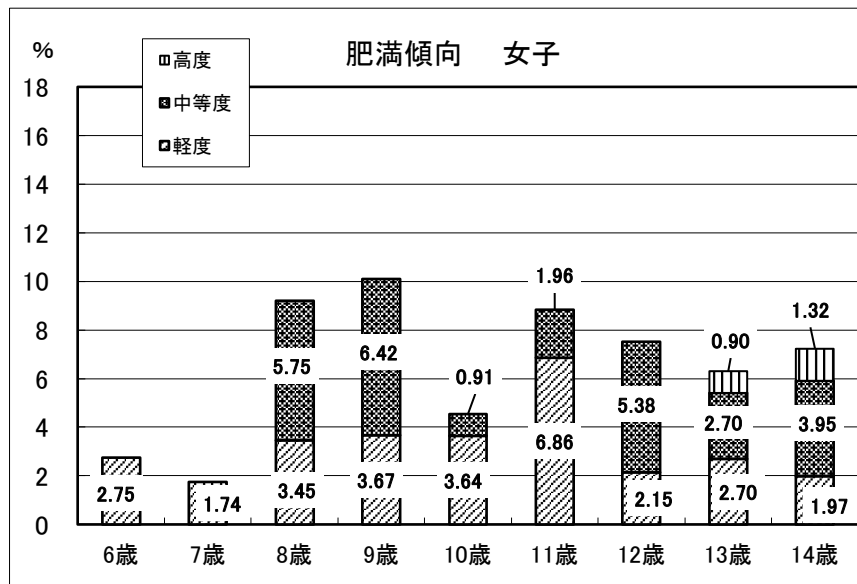
- 身長は、男子は7歳・8歳、女子は6歳・7歳・8歳・12歳で県平均を下回っている。
男女の比較では、7歳・9歳・10歳・11歳以外の年齢で男子が女子を上回っている。
年齢間の差は、男子は11歳から12歳で7.8cm、女子は8歳から9歳で7.7cmの伸びが最大である。
- 体重は、男子は6歳・7歳・9歳・10歳 女子は6歳・7歳・8歳・11歳・中学生全年齢で県平均を下回っている。男女の比較では、9歳・10歳以外の年齢で男子が女子を上回っている。
年齢間の差は、男子は11歳から12歳で7.2kg、女子は8歳から9歳で4.9kgの増加が最大である。

軽度：標準体重の+20%～30%未満 中等度：+30%～50%未満 高度：+50%以上



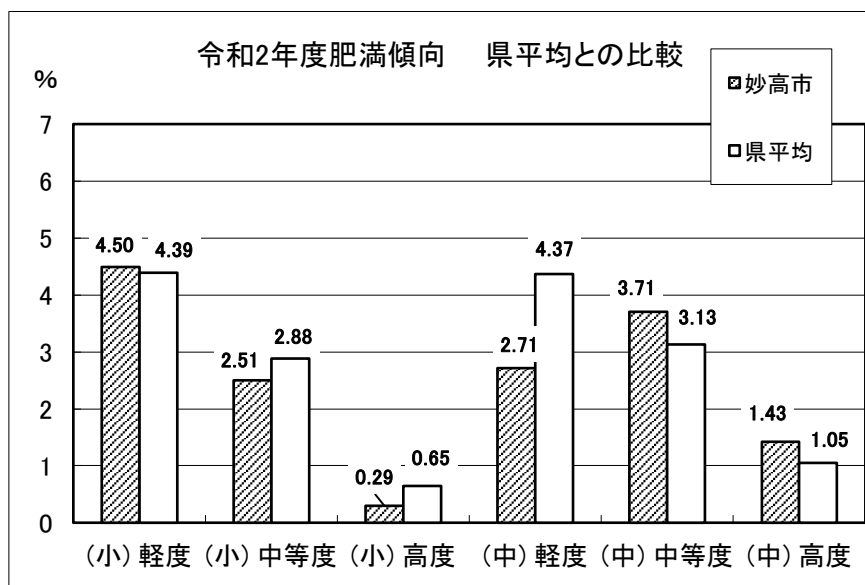
＜肥満傾向男子＞

- 妙高市の6歳から14歳までの値を比較すると、12歳の割合が最も高く、6歳の割合が最も低い。
- 6歳・7歳・9歳・11歳・13歳の高度肥満がない。



＜肥満傾向女子＞

- 妙高市の6歳から14歳までの値を比較すると、9歳の割合が最も高く、7歳の割合が最も低い。
- 6歳・7歳・8歳・9歳・10歳・11歳・12歳の高度肥満がない。

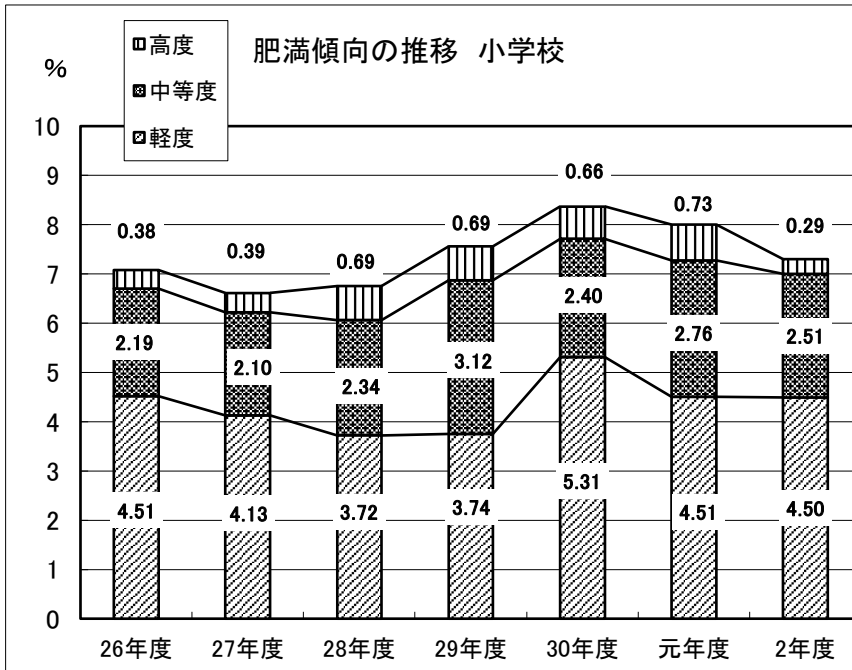


＜県平均との比較＞

- 小学校の軽度肥満、中学校の中等度肥満と高度肥満が県平均を上回っている。

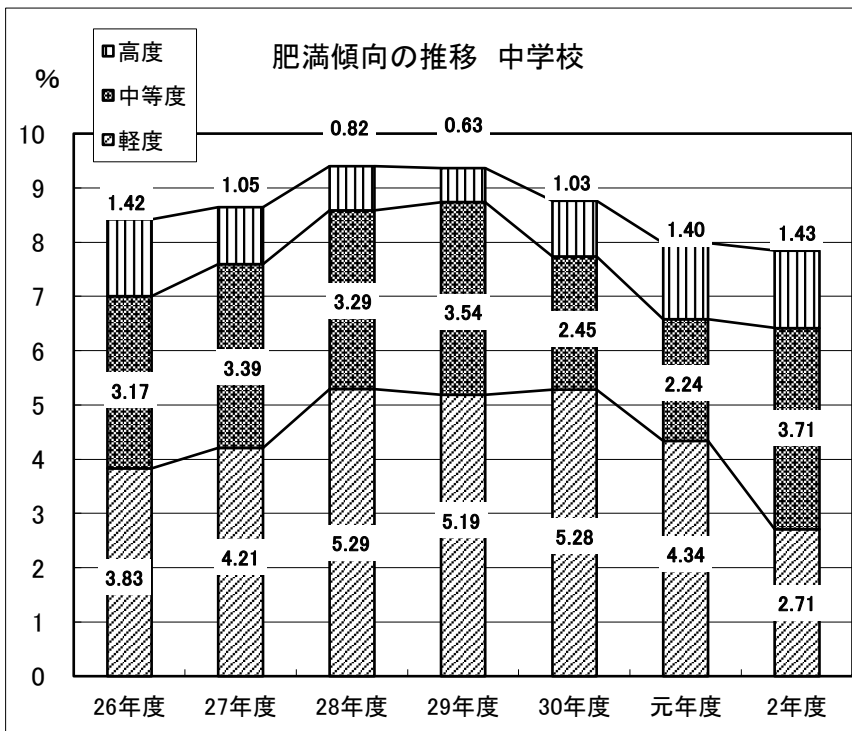
※県平均は令和元年度のデータ

軽度: 標準体重の+20%~30%未満 中等度: +30%~50%未満 高度: +50%以上



＜肥満傾向の推移＞
＜小学校＞

○ 肥満傾向の割合は、27年度から増加していたが、令和元年度以降減少している。



＜肥満傾向の推移＞
＜中学校＞

○ 肥満傾向の割合は、29年度以降、減少している。

令和2年度 児童生徒疾病異常一覽

単位は%、()内は人数

は県平均を上回っている数値

分類 疾病項目	小学校				中学校				
	男	女	男女計	県	男	女	男女計	県	
脊柱側弯前屈検査異常	0.26 (1)	1.56 (5)	0.86 (6)	0.75	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	1.30	
胸郭異常	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.07	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.07	
目	裸眼視力0.9以下	30.21 (219)	34.18 (216)	32.06 (435)	35.60	61.16 (211)	69.94 (249)	65.62 (460)	60.37
	アレルギー性眼疾患	11.03 (80)	6.17 (39)	8.77 (119)	3.50	4.93 (17)	3.93 (14)	4.42 (31)	9.81
	結膜炎・その他の眼疾患	2.76 (20)	0.95 (6)	1.92 (26)	1.66	0.58 (2)	0.00 (0)	0.29 (2)	1.26
耳	聴力異常両耳とも	0.28 (2)	0.79 (5)	0.52 (7)	0.37	0.58 (2)	0.00 (0)	0.29 (2)	0.32
	中耳炎	0.14 (1)	0.32 (2)	0.22 (3)	0.26	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.06
鼻	副鼻腔炎	0.14 (1)	0.32 (2)	0.22 (3)	1.37	0.29 (1)	0.56 (2)	0.43 (3)	0.38
	アレルギー性鼻炎	23.17 (168)	13.45 (85)	18.64 (253)	13.98	14.20 (49)	8.99 (32)	11.55 (81)	19.20
	その他の鼻疾患	1.93 (14)	0.95 (6)	1.47 (20)	2.58	4.93 (17)	1.12 (4)	3.00 (21)	1.61
のど	扁桃肥大	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.26	0.58 (2)	0.00 (0)	0.29 (2)	0.09
	へんとう炎	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.03	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.05
皮膚	アトピー性皮膚炎	5.52 (40)	5.22 (33)	5.38 (73)	7.09	0.58 (2)	1.69 (6)	1.14 (8)	7.72
	その他の皮膚炎	0.00 (0)	0.32 (2)	0.15 (2)	0.25	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.15
ぜん息	生活規制がある	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.07	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.01
	要観察発作がある	8.55 (62)	5.85 (37)	7.30 (99)	4.39	0.87 (3)	1.12 (4)	1.00 (7)	2.42
腎臓	生活規制がある	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.01	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.01
	要観察	0.14 (1)	0.47 (3)	0.29 (4)	0.44	0.58 (2)	1.69 (6)	1.14 (8)	0.43
心臓	生活規制がある	0.28 (2)	0.16 (1)	0.22 (3)	0.11	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.09
	要観察	0.55 (4)	1.58 (10)	1.03 (14)	1.74	3.77 (13)	1.69 (6)	2.71 (19)	1.84
尿	尿糖有所見者	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.04	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.10
四肢の異常		0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.14	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.36
運動機能障害がある		0.41 (3)	0.00 (0)	0.22 (3)	0.12	0.00 (0)	0.00 (0)	0.00 (0)	0.05

※県平均は令和元年度

〈概要〉

○小学校では、「アレルギー性眼疾患」「アレルギー性鼻炎」「喘息（要観察）」が、県平均を大きく上回っている。

○中学校では、「裸眼視力0.9以下」「その他の鼻疾患」が、県平均を大きく上回っている。

令和2年度 歯科保健

項目 学校名	永久歯									
	人数について				歯数について					
	学級数	検査を受けた人数	むし歯のある者 未処置歯 処置歯 喪失歯のいずれか 1本以上ある者の 数	有病者率 $\frac{b}{a} \times 100$ (%)	未処置歯 総本数	処置歯 総本数	喪失歯 総本数	むし歯総数 (ア+イ+ウ)	処置歯率 $\frac{イ}{ア+イ+ウ} \times 100$ (%)	1人平均 むし歯数 $\frac{ア+イ+ウ}{a}$ (本)
(a)	(b)	(%)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア+イ+ウ)	(%)	(本)		
市内小学校 合計数及び平均	91	1352	66	4.9 《5.9》	47	64	0	111	57.7 《68.6》	0.08 《0.09》
元年度県平均				5.7					64.7	0.10
市内中学校 合計数及び平均	33	672	77	11.5 《11.9》	25	118	0	143	82.5 《82.9》	0.21 《0.22》
元年度県平均				19.0					72.3	0.45

〈概要〉

《 》内は前年度の市平均

- 昨年度と比較し、小中学校ともに有病者率及び一人平均むし歯数は低下した。処置歯率は、小中学校ともに低下した。
- 県平均と比較し、有病者率及び一人平均むし歯数は小中学校ともに下回っている。処置歯率は小学校は下回り、中学校は上回っている。

